

園だより

平成30年8月1日 二条保育園発行

暑くて！今年の夏はことさら暑く、体調管理が一番の課題となっています。園庭では専ら水遊び、泥水遊び。プクプク泡あそびは見た目涼しさを運んでくれます。プールは子どもたちのはじけた声が聞かれる楽しい時間。午睡はグッスリ…緩急つけた過ごし方で健康に、と日々考えています。ただ、私たちが一番神経を使うのが月曜日です。休み明けは子どもたち、とてもお疲れの様子。幼児ですら午前睡が必要といった状況もあります。親子で夏の遊びは楽しいけれども、一週間の園生活が始まるのです。機嫌や活動にも影響しています。どうぞ、体力の温存も考えていただければ…とお願いします。

行事予定

- | | |
|--------|----------------------|
| 3日（金） | 観劇（月・雪組）
…朱二小学校にて |
| 7日（火） | 流しそうめん大会 |
| 8日（水） | 乳児健康診断 |
| 22日（水） | 川遊び（月・星組） |

『カプラ』、かまぼこ板を横半分にしたようなもの？の積木が幼児の各組にあってイメージに基づいていろんな物を作れます。受け身の遊びではなく、シンプルな形を積んだり並べたり、また壊したりと自由自在に変化させていける、積極的に自分が関り表現できる…そんな積木がカプラです。

ある夕方の幼児合同の時間、各組10人ほどが部屋におり、カプラで遊ぶことに。「よし、ゲームをしよう」と組ごとで並び、それぞれの先頭は1枚取る。2番目は2枚取る、最後尾は10枚。自分で数えて取ります。

3歳児星組は「〇〇ちゃんは△枚やで」と知らせ、4歳児雪組は「何枚かな？」と確認してから。5歳児月組は取った枚数を次に並んでいる人に知らせ、自分の枚数を考えて取ります。

次のお題は“組ごと集めたカプラで何かを作る”「えーっ！何作る？何作る？」とザワザワ…。星組は先生も相談に加わりながら、雪組と月組は子どもたちで相談を。少し時間があって、活発な意見交換のあと発表。星組「京都タワーです！」（えっ、平屋？）たき火のようにカプラが重なっています。うれしそう。雪組「オバケ屋敷です！」（おっ、それっぽい）カプラの長い側面を立てて迷路のようにつなげてあります。自慢げに。月組「・・・」円柱のようにして高く積んであります。ズコッ！何作ったんやな。（この効果音がふさわしい…）月組再度相談。そして「マンション！」（もうひとひねり欲しい！）どや顔。意見を出し合いそれをまとめていく過程はとても大変ですが、自己主張しつつも他の人の意見も聞く、主張しっぱなしでもなく流されるままでもなく、自己抑制をしつつ…両者あってこそ。

まずは自分の思っていることを出してみよう、表現してみよう、出たところで認められたり、そうでなかったり、褒められたり叱られたりすればいいのです。そういったやりとりが大切で子どもの価値観、ものさが育っていきます。それは手法ではなく、本気のやりとりの中でしか得ることができません。子どもの世界は楽しいだけでは成り立たず、心がグッと成長するときには必ず葛藤があります。子どもとのやりとりの中でやりにくさを感じれば、それは今までと違った世界が広がってきたのだなといったことが言えます。しめたもの。

さて、これからは同じ時間過ごしてきた友だちと先生とさまざまな取り組みをしていきます。本人にとって嫌と感ずること、いいと感ずることいろいろあると思いますが、さまざまなやり取りの中でさまざまな感情を味わい、経験を積める良い機会と考えています。